第3回　意見交換会　資料

令和8年(2026年)10月25日

教育委員会事務局
学校施設管理課企画推進係
☎06-6858-2705
kyosuishin@city.toyonaka.osaka.jp

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/gakkou/gakkoushisetsuseibi/gakkouchiikisetumei.html

建て替えに向けた考え方

令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

整備の進め方

豊中市では『学校施設長寿命化計画』に基づき基本的には築年数の古い学校施設から順次整備を進めることとしています。

だたし近隣の学校とセットで改築することが効率的である場合は、周辺校を含め整備することも検討していきます。

建て替え後の学校種別

それぞれの小中学校を個別に建て替えを行うことを検討しています。

※熊野田小・第三中は、児童推計に基づくと、将来に渡り児童生徒数が大きく増減しない見込みです。

（参考）

学校	建築年度		築80年となる年度	区分	R8（2026）	R17（2035）	R27（2045）	R37（2055）
熊野田小	校舎	1958	2038	学級数	22	18	18	18
	体育館	1968	2048	児童数	713	617	576	552
第三中	校舎	1958	2038	学級数	22	27	24	24
	体育館	1964	2044	生徒数	863	912	829	817

建て替え手法の選定

・建て替えを実施するに当たっては、様々な検討事項がありますが、建て替え計画全体に大きく影響する重要な要素である「建て替え手法」を、他の検討ポイントに先立ち、検討する必要があります。

・熊野田小学校・第三中学校の建て替え手法は、3案考えられます

⇒**1. 単独建て替え案（それぞれの学校敷地内で建て替えを実施する案）**

⇒**2. 2校連続整備案（第三中の運動場に新校舎を建設し、空きになった旧校舎を熊野田小が利用している間に熊野田小を建て替える案）**

⇒**3. 土地交換案（大曽公園内に第三中の本設校舎を建設し、熊野田小を建て替える案。※建て替え完了後、第三中跡地を公園として整備）**

※大曽公園に仮設校舎を建設する案は、法令上の要件を満たさないため採用不可

・建て替えにあたっては、**工事期間中においても最適な学習環境を確保すること**が重要です。

建て替え手法や、整備後の学校の姿については、地域の皆様と対話を行いながら、整備を進めてまいります。

案1　単独建て替え案

令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

単独建て替え案

✅それぞれの学校の敷地内で建て替えを実施する案
✅運動場部分に新校舎を建設し、完成後に旧校舎を除却します。
✅敷地の条件により、工事を複数工期に分けて段階的に新校舎を建設する必要があります。

■配置イメージ図

①　第三中



■工事期間：**4年程度**

※設計期間（2年）を合わせると
　整備期間は**6年程度**となります。
※スケジュールや配置イメージは一例です。

②　熊野田小



■工事期間：**5年程度**

※設計期間（2年）を合わせると
　整備期間は**7年程度**となります。
※スケジュールや配置イメージは一例です。

ポイント

・通学路は変わりません。
・工事による騒音、振動等の影響を受けることになります。
・整備期間の長期化が予想されます。
・各校ともに運動場の利用は全面的に制限されます。

単独建て替え案を採用した場合の最短スケジュール

0年目	整備手法の確定 事業化に必要な予算の確保	
1年目	事業者選定・契約	
2年目	第三中 基本設計	
3年目	第三中 実施設計	
4年目	第三中 一期工事 ⇒新校舎建設	
5年目		
6年目	第三中 二期工事 ⇒解体工事・運動場整備	熊野田小 基本設計
7年目		熊野田小 実施設計
8年目		熊野田小 一期工事 ⇒プール解体・体育館建設
9年目		
10年目		熊野田小 二期工事 ⇒旧体育館解体・新校舎建設
11年目		
12年目		熊野田小 三期工事 ⇒解体工事・運動場整備

※整備手法が令和9年度頃に確定すると仮定した場合のスケジュールとなります。

案2　2校連続整備案

令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

2校連続整備案

✅第三中の運動場に新校舎を建設し、空きになった旧校舎を熊野田小が利用している間に熊野田小を建て替える案

■工事期間：**7年程度**（※）

■整備の順番

①第三中敷地内に新校舎建設（設計2年、工事2年程度）

②熊野田小の建て替え（設計2年、工事3年程度）

③第三中旧校舎の解体、運動場整備、土地造成等（工事2年程度）

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**9年程度**となります。

■配置イメージ図（第三中学校）



■配置イメージ図（熊野田小学校）



※スケジュールや配置イメージは一例です。

ポイント

- ②の工事期間中は、一時的に2校が同じ第三中の敷地内で過ごすこととなります。
- 熊野田小児童は、通学路の変更が生じます。
- 熊野田小児童は、工事による騒音、振動等の影響を受けることがありません。

2校連続整備案を採用した場合の最短スケジュール

0年目	整備手法の確定 事業化に必要な予算の確保	
1年目	事業者選定・契約	
2年目	第三中 基本設計	
3年目	第三中 実施設計	
4年目	一期工事 ⇒第三中 新校舎設置	熊野田小 基本設計
5年目		熊野田小 実施設計
6年目		二期工事 ⇒熊野田小 旧校舎解体、新校舎建設
7年目		
8年目		
9年目	三期工事 ⇒第三中 旧校舎解体、運動場整備	
10年目		

※整備手法が令和9年度頃に確定すると仮定した場合のスケジュールとなります。

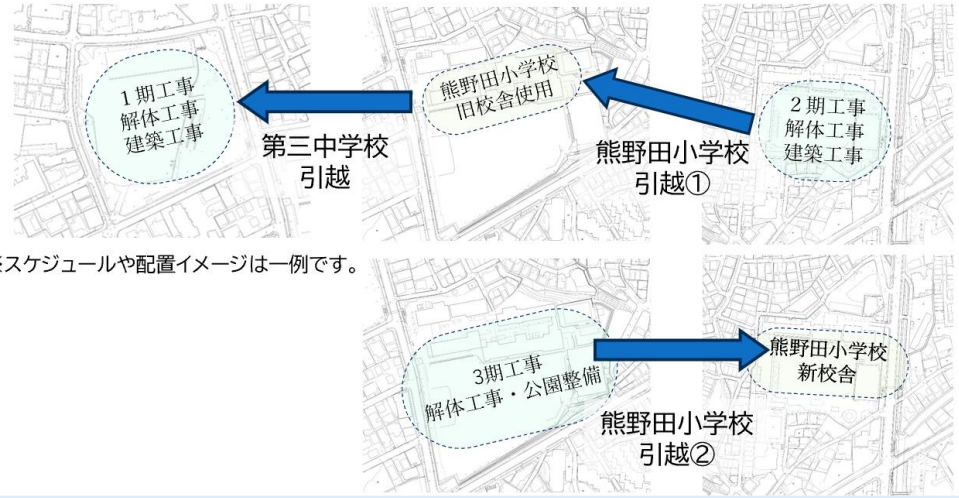
案3　土地交換案

土地交換案

✅大曽公園内に第三中の新校舎を建設し、熊野田小を建て替える案
✅第三中跡地を公園として整備します

■工事期間：**7年程度**（※）
■整備の順番
①大曽公園に第三中学校 新校舎建設（設計2年、工事3年程度）
②熊野田小学校の建て替え（設計2年、工事3年程度）
③第三中学校跡地を第2グラウンドに整備（設計1年、工事1年程度）
※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**9年程度**となります。

■配置イメージ図（大曽公園）　■配置イメージ図（第三中学校）　■配置イメージ図（熊野田小学校）



※スケジュールや配置イメージは一例です。

土地交換案を採用した場合の最短スケジュール

0年目	整備手法の確定 事業化に必要な予算の確保	
1年目	事業者選定・契約	
2年目	第三中 基本設計	
3年目	第三中 実施設計	
4年目	一期工事 ⇒第三中 新校舎設置	
5年目		熊野田小 基本設計
6年目		熊野田小 実施設計
7年目		二期工事 ⇒熊野田小 旧校舎解体、新校舎建設
8年目		
9年目	第三中 第2グラウンド設計	
10年目	三期工事 ⇒第三中 第2グラウンド整備	

※整備手法が令和9年度頃に確定すると仮定した場合のスケジュールとなります。

ポイント

・通学路の変更が生じます。
・工事による騒音、振動等の影響を受けることがありません。
・大曽公園の利用が長期にわたって全面的に制限されます。
・公園の位置が変わることにより周辺環境に変化が出ます。
・大曽公園は現第三中の敷地よりも面積が狭いため、現在より施設配置や運用面で制約が生じる可能性があります。

整備に伴う影響について

令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

	案1 単独建替え案 第三中	案1 単独建替え案 熊野田小	案2 2校連続整備案	案3 土地交換案
工事期間	計9年程度 （第三中：4年程度　熊野田小：5年程度）		7年程度	7年程度
運動場	・1期工事期間 ⇒半分程度の制限の見込み ・2期工事期間中 ⇒大曽公園の利用	・1期工事期間 ⇒半分程度の制限 ・2期工事・3期工事期間中 ⇒ほぼ全域の制限。第三中運動場の利用を想定	・工事部分以外の第三中運動場の利用 ・大曽公園の利用	新三中敷地に一定規模の運動場を確保できるものの、第三中跡地に第2グラウンドを整備する必要あり。これにより体育の授業等のグラウンド利用に影響が生じる。
体育館	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする	工事期間中、行事や体育授業の実施及び避難所機能を確保するため、新旧の体育館のいずれかが使用可能な状態とする
プール	工事期間中、新旧のプールのいずれかが使用可能な工程を組む	外部のプール施設（近隣の学校、公営施設、民間施設）の利用を検討	【第三中】工事期間中、新旧のプールのいずれかが使用可能な工程を組む 【熊野田小】外部のプール施設（近隣の学校、公営施設、民間施設）利用を検討	【第三中】工事期間中、新旧のプールのいずれかが使用可能な工程を組む 【熊野田小】外部のプール施設（近隣の学校、公営施設、民間施設）利用を検討
通学	―	―	居住地域によっては、通学距離が長くなる場合がある	居住地域によっては、通学距離が長くなる場合がある
放課後こどもクラブ	―	工事期間中、普通教室等の諸室の転用や学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり	第三中旧校舎内に確保ができる可能性が高い	第三中旧校舎内に確保ができる可能性が高い
工事に伴う影響	・工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来 ・旧校舎から離れた位置に新校舎を配置することで児童生徒への騒音等の軽減を図ることが可能	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	【第三中】工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来 ・旧校舎から離れた位置に新校舎を配置することで児童生徒への騒音等の軽減を図ることが可能 【熊野田小】　―	―
周辺への影響	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を実施 ・校舎位置の変更（第三中・熊野田小）	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を実施 ・校舎位置の変更（第三中・熊野田小）	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を実施 ・校舎位置の変更（第三中）	・工事期間中、周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響に配慮して工事を実施 ・校舎位置の変更（第三中）

よくある質問と当校区における対策について

施設面

教室は今より広くなりますか	1教室 約74㎡を想定しており、現行より広くなります（現行約 63㎡）。
なぜ今建て替えるのですか	両校ともに築後60年以上経過した施設であり、豊中市長寿命化計画において、早期に建て替えを実施する学校に指定し、建て替えの検討を開始しています。
どのような施設設計にするか相談できますか	建て替えの手法が決定した後、施設設計について、ワークショップを実施する予定です。
プールは作りますか	小学校における水泳授業は、原則として民間事業者または公設プールを活用するため、熊野田小にはプールを設置しません。中学校における水泳授業は、原則として自校で実施するため、第三中にはプールを設置する予定です。

工事面

工事車両のルートはどうなりますか	施工事業者決定後、ワークショップ等を通じて学校や地域の意見を聞きながら、施工事業者と協議の上決定します。
建て替えには何年かかりますか	工事期間について、単独建て替えの場合は9年程度、2校連続整備の場合は7年程度かかることを想定しています。
工事期間中の騒音や振動への対策はされますか	騒音・振動が大きくなる作業は、出来る限り学校活動への影響が少ない時間帯に実施し、併せて、防音パネルの設置等の対策を講じます。
工事期間中の避難所はどうなりますか	小学校・中学校いずれも新旧どちらかの体育館は残したまま建て替えるため、災害時の避難所開設は工事期間中も行います。

その他

部活動は継続できますか	子どもたちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保するため、令和10年度の2学期より部活動の地域展開を推進し、「とよチャレ」（豊中市地域クラブ活動チャレンジ推進事業）を実施します。建て替え時期において、第三中学校の運動場が使用できない場合、近隣の中学校施設の活用を調整し、第三中校区の生徒が参加しやすい環境整備に努めます。
工事期間中、運動会などの行事は継続できますか	運動会などの行事については、近隣の小中学校をはじめとする学校施設の利用、市有体育施設の利用等を検討します。
市民への情報発信はどのようにされますか	市ホームページ、コドモン、とよふぁみ(母子モ)、保育施設へのチラシ配架を実施し、広く周知を行っています。
工事期間中通学路は変わりますか	土地交換案の場合、第三中学校生徒が現大曽公園へ、熊野田小学校児童が第三中学校へ 2校連続整備案の場合、熊野田小学校児童が第三中学校へ通学する期間があります。
他の学校区でも建て替えは検討していますか	全ての学校が築後概ね80年以内を目安に整備を完了させるため順次建て替えの検討をしています。

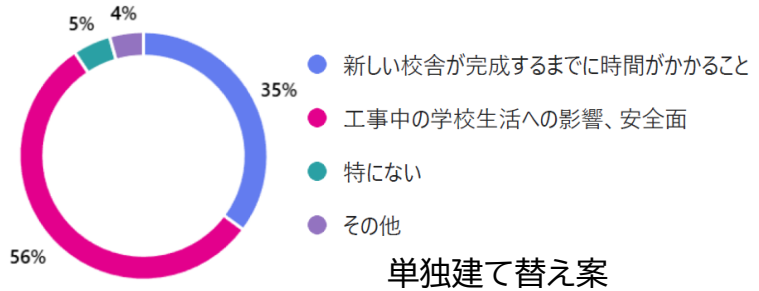
アンケート結果について（保護者等）

令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

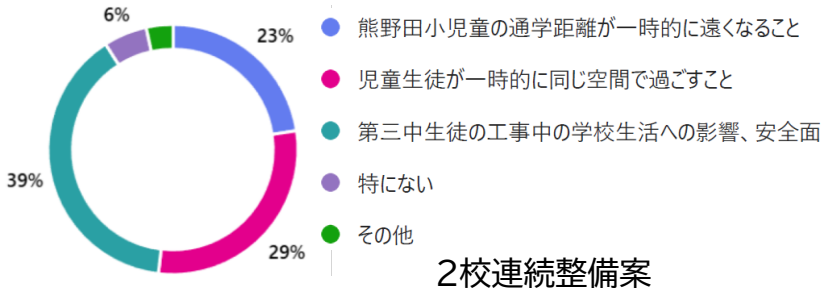
アンケート概要

対象者	未就学児保護者/第三中・熊野田小・桜塚小・上野小・南桜塚小保護者
回答数	1,092件
項目	望ましいと考える建て替え手法/選択した建て替え手法の理由/それぞれの案の気になることや不安に感じること/自由意見

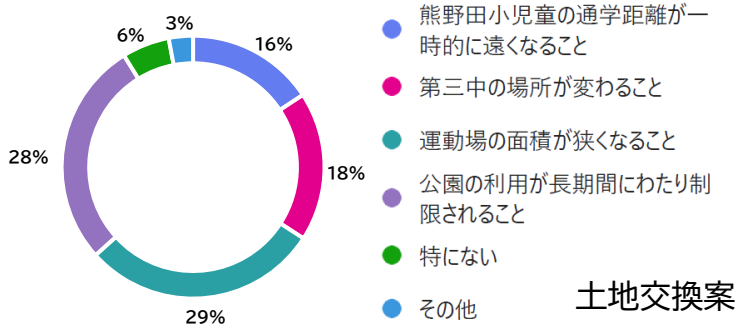
各案に対する懸念点



単独建て替え案



2校連続整備案



土地交換案

ご意見（自由記述）抜粋

ご意見	回答
【期間面】 ・やるからにはテンポ良く早くやってほしい。上野小学校も建て替えがあり、小中どちらも工事中の学校に通わせるのはかわいそう。 ・子どもたちのために安全で比較的、短期間で建て替えできる方法が好ましいと考えます。	上野小学校から第三中学校へ進学するお子様については、小学校・中学校の建て替え期間が重複する可能性があります。そのため、建て替え期間中においても、充実した教育活動を行えるよう、校外学習の充実等の施策を検討してまいります。
【通学面】 ・建て替えは必要だと思うが、在校期間が建て替え期間と大幅に重複する場合、通学距離が比較的近隣の小学校を選択し通わせてほしい。建て替えによる騒音や安全面を気にしながらせっかくの学校生活を送らせたくない。 ・2校連続整備案、土地交換案では熊野田小児童の通学が変更になるので、子供達に対する通学のサポートについても考えていただきたいと思います。	児童生徒の通学負担の軽減を図るため、通学路の現地調査を継続し、状況ごとに適切な対応策を検討し、提示します。
【建て替え面】 ・小学校と中学校の一時同居だけはやめてほしい。互いによい影響があるとは思えない。 ・せっかく税金を投入して建て替えを行うなら、今後長きにわたって豊中市の財産となりうる良い施設にしてほしいです。	（2校連続整備を実施する場合）使用する運動場のエリア分け等により中学生・小学生双方が安全かつ円滑に利用できるよう配慮します。運動場以外の諸室（体育館を含む。）の利用については、原則として共用を想定していません。

アンケート結果について（周辺住民等）

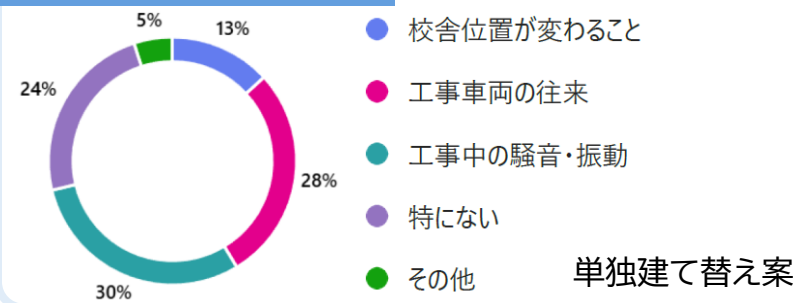
令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

アンケート概要

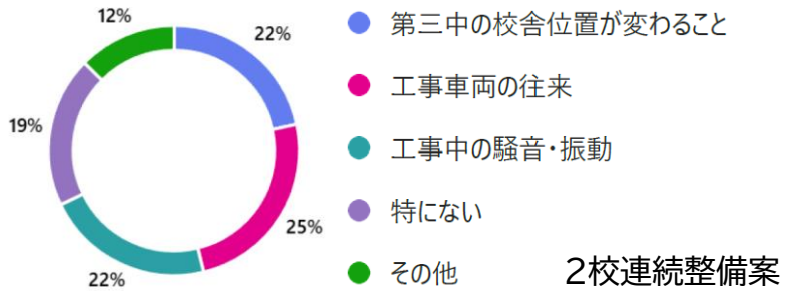
対象者	第三中・熊野田小校区にお住いの方々
回答数	292件
項目	望ましいと考える建て替え手法/選択した建て替え手法の理由/それぞれの案の気になることや不安に感じること/自由意見

※10月20日時点の途中結果
10月30日（金）締め切り

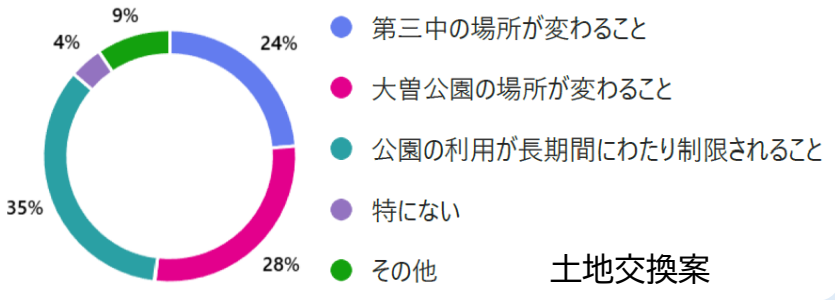
各案に対する懸念点



単独建て替え案



2校連続整備案



土地交換案

ご意見（自由記述）抜粋

ご意見	回答
【整備面】 ・校舎の高さの制限を設けてほしい。現在より校舎が高いと日当たりや景色が変わり、周辺地域が暗くなる。 ・第三中周辺は土地の低い箇所に新しい戸建てが密集している。新築後のグラウンドの砂や建設時発生の汚泥や粉塵が住宅街に飛散しないような計画とすべき。	・校舎の高さについては、施設計画の検討段階において日影の状況等を確認しながら、周辺環境への影響をできる限り抑えられるよう検討を進めます。 ・グラウンドからの砂の飛散や工事中の粉塵・騒音等については、周辺環境への影響をできる限り低減できるよう、施工業者と調整しながら必要な対策を講じていきます。
【建て替え手法】 ・（単独建て替え案を採用し、）同じ敷地内で完結する方が、生徒、教職員、周辺住民にとっても、大きく生活が変わることがないと安心感に繋がると思います。	単独建て替え案は、通学距離の面では、従前と大きな環境の変化はありません。一方で、敷地内で工事が行われることから、児童生徒や教職員の教育環境には、大きな変化が生じることが想定されます。また、工期が長期化することで、工事車両の往来等の周辺住民の生活環境への影響も長期間に及ぶことが考えられます。建て替え手法の決定にあたっては、それぞれの案が教育環境や生活環境等にどのような影響を与えることになるのかを十分に比較・検討してまいります。
【公園の利用について】 ・大曽公園の場所を変えないで欲しい。 ・大曽公園は老若男女問わず利用されている。憩いの場を奪うのはいかがなものかと思う。 ・公園の場所に校舎を建てられると騒音問題と遊ぶ公園がなくなる為現在の場所でそのまま建て替えが望ましいと思う。	大曽公園は地域の皆様の貴重な憩いの場であり、その利用への影響や周辺環境への影響については十分に考慮する必要があると認識しています。いただいたご意見も参考にしながら、教育環境の確保と地域への影響の双方の観点を踏まえ、整備手法の検討を進めていきます。

アンケート結果について（児童・生徒）

アンケート概要

対象者	第三中1年生～3年生/熊野田小4年生～6年生
回答数	643件
項目	単独建て替え案について、心配なこと　/　2校連続整備案について、心配なこと　/ 土地交換案について、心配なこと 学校の建て替えについて、思うこと（期待すること・心配なことなど）

各項目ごとの意見

・単独建て替え案を採用する場合、心配なこと

→建替え中の塵や埃が舞う
→工事の危険が隣り合わせ
→運動場が使えなくなるのが嫌
→工事の音が気になる

・2校連続整備案を採用する場合、心配なこと

→慣れない環境が嫌
→となりでやっている新校舎の工事の騒音（第三中）
→小学生が中学校の規格に合わず不便なことが多そう
→中学生と小学生でのトラブルが心配
→通学路が変わって歩く距離が長くなるのは嫌

・土地交換案を採用する場合、心配なこと

→慣れない環境が嫌
→十五中校区の人たちはもっと通学距離が遠くなる
→公園の場所が変わるのが嫌
→ほかの人が公園で遊べなくなる
→近隣に住んでいる人に負担がかかる

・学校の建て替えについて、思うこと

→学校が綺麗になるのは嬉しいです。
→最新の設備を導入して防犯対策を強化した方がいいと思います
→購買と自習室を増やして欲しい
→早く建てかえてください
→体育館の天井を高くしてほしい
→残った椅子の木屑とかで、記念になるもの（キーホルダー等）を作って欲しい

アンケートで得られた懸念事項について

令和８年１０月２５日
熊野田小学校・第三中学校
意見交換会用資料

通学環境

調査の実施・対応策提示

2校連続整備案、土地交換案を採用した場合、通学距離が延びる地域が存在し、児童生徒の通学負担が大きい
⇒通学路の現地調査を継続し、状況ごとに適切な対応策を検討、提示します。

対応策の例

カラー舗装、看板設置等のハード面対応



児童生徒 同居時の安全対策

第三中旧校舎の利用

小学校の仕様に適宜改修を行います。

【検討中の改修内容の例】
・児童の利用に配慮したトイレ、手洗い場の高さ調整
・ランドセル収納棚の設置（普通教室） 等

発達段階の違いへの配慮

動線や生活空間の分離
校庭利用時間の調整
休み時間の運用 等

学校行事や部活動への影響

運動会等の学校行事

近隣の学校の運動場、市有体育施設等の他の施設の利用を想定

工事の安全面

安全対策

・工事エリアとの動線切り分け
・誘導員の設置を検討
・毎日の安全点検や危険個所確認の徹底

騒音・振動

対策

法令の範囲内で実施しますが、作業効率や集中力の低下等の影響が考えられるため、工事用防音パネルの設置等の対策を実施し、影響の軽減を図ります。



活動場所の確保

体育館の利用

いずれの案についても、建て替え期間中を通じて体育館の利用が可能です。2校連続整備案では、両校生徒の同居中、新旧2つの体育館を併存させることを検討しています。

大曽公園の利用

単独整備案及び2校連続整備案については、体育の授業など一部の学校活動を、大曽公園において実施することを検討しています。

各整備案のメリットや課題を整理し、これらの視点を総合的に比較しながら検討を進めています。